

# カキノキ

【 区画①(1), 区画②(137), 区画⑤(162) 】

がくめい <b>学名</b>	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.	ぶんるい <b>分類</b>	カキノキ科カキノキ属
ぶんぷ <b>分布</b>	にほんせいなんがさんちゅうじせい にほんかくち ていえんさいしよく 日本西南部の山中に自生, 日本各地の庭園に栽植	じゆこう <b>樹高</b>	ていどらくようこうぼく 10m程度の落葉高木

## 〈 特徴等 〉

なまえゆらい <b>名前の由来</b>	・諸説あるが、果実が堅いことから「カタキ」となり、それが転じて「カキ」となったとされる。		
は <b>葉の特徴</b>	① じょうりよく 常緑 ・ らくよう 落葉	② こうよう 広葉 ・ しんよう 針葉	
	③ たいせい 対生 ・ ごせい 互生	④ たんよう 単葉 ・ ふくよう 複葉	⑤ きよしえん 鋸歯縁 ・ ぜんえん 全縁
かいかとう <b>開花等</b>	・6月頃, 黄緑色の花を開く。		
けつじつとう <b>結実等</b>	・10~11月に熟し, 甘柿と渋柿がある(同じ木になる)。熟すと黄赤色になる。		
ほか <b>その他</b>	・紅葉するとしばしば目玉模様が現れる。 ・未熟なカキは渋い(渋柿)。しかし, 熟すにつれて渋みが抜けて甘くなるもの(甘柿)もある。		

## 〈 写真 〉

		
じゆもく <b>樹木 (6/12)</b>	じゆひ <b>樹皮 (6/12)</b>	は <b>葉の付き方 (6/12)</b>
		
は <b>葉 (6/12)</b>	はな <b>花 (/)</b>	かじつ <b>果実 (実) (/)</b>

〈 参考文献 〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』 北隆館, p. 910.  
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』 小学館, p. 134-135.